

# 道徳科

## 令和5年度 授業改善のポイント

- (1) 学習指導要領の目標に示されている学習活動（「道徳的諸価値について理解する」「自己を見つめる」「物事を多面的・多角的に考える」「自己の（人間としての）生き方についての考えを深める」）を通して、児童生徒が主体的に道徳性を養う姿を想定した上で授業を構想する。
- (2) 児童生徒が多様な感じ方や考え方に接することで、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基にした言語活動を充実させる。
- (3) 道徳的価値についての理解を基に、児童生徒がこれまでの生き方を振り返ったり、これからの生き方に希望をもったりする場面を設定する。

## 自己の生き方についての考えを深める学習活動の充実

### 【指導事例】

小学校第5学年 教材名「ブランコ乗りとピエロ」[B(11)相互理解、寛容]

〈授業改善のポイント〉



私のクラスでは、自分の意見を譲らずにけんかになってしまうことがよくあるな。自分と異なる意見を大切にすることを育てたい。 ①

**ポイント(1)** 児童生徒の実態を踏まえた上で、本時の授業で道徳性を構成する諸様相の中のどの様相に焦点を当てて指導をするのかを考え、ねらいを設定します。 ①

【ねらいの設定】謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする態度を育てる。



今日はサーカスの話を通して考えていきます。みなさんは登場人物のサムをどう思いますか。考えながら読みましょう。 ②③

**ポイント(1)** 問題意識をもつことができるよう、教材を読む前に視点を与えたり、これまでの経験と重ね合わせて考えられるような手立てを講じたりします。 ②



サムはほかの人のことを全く考えず、自分だけが目立ってずると思います。

道徳的

でも、お客さんは盛り上がったし、大王も満足したから結果的にはよかったと思います。



サムを許したピエロは「心が広い」という意見がありました。広い心とはどのような心なのでしょう。 ④

**ポイント(2)** 自分の考えを明らかにし、それを基に話し合うことで多様な考えに接することができるようにします。また、個の考えを見取り、話合いに生かすことも大切です。 ③



自分の言いたいことばかり言わず、相手の考えを聞こうとする心だと思います。

価値の

自分のことだけでなく、相手の気持ちを考えて、許すことができる心だと思います。



アンケートを見ると、友達と意見がぶつかったことがある人が多いですね。みなさんは、そのときどう感じましたか。 ④⑤

**ポイント(1)** 道徳的価値の大切さについて考え、その理解を基に自己を見つめることができるようにします。 ④



自分の意見を分かってもらいたかったです。

理解の深まり

自分が正しいと友達が言い張るので腹が立ちました。



お互いに同じような気持ちだったということかな。

相手の気持ちを考えることができていなかったかもしれません。



伸ばしたい自己を深く見つめ、これからの生き方の課題を考える

**ポイント(1)** 登場人物の心情理解にとどまらず、自分との関わりで考えを深めていく問い掛けを工夫します。 ⑤



みなさんの中にも相手の気持ちを考えて許したり、意見がぶつかった相手のよいところを認めたりする気持ちがありますか。これまでの自分、これからの自分について考えてみましょう。 ④⑥

**ポイント(3)** 自己の生き方について考えを深める活動を充実させるため、これからの思いや自己の課題について考える場面を設定します。活動時間の確保のために、学習活動を精選したりICTを活用して効率化を図ったりすることが大切です。 ⑥



今までは意見がぶつかったときに相手を負かすことしか考えていなかったな…。相手の気持ちを考えて認めることができる人になりたいな。

違った考えだからこそ、合わさって、よりよい考えになることもあるんだな。これからは意見がぶつかっても相手の考えを聞いてよいところを見付けたいな。

